

心学明誠舎新春の「見学と懇親のつどい」

主催：心学明誠舎：当日の連絡先090-3276-8966

ホームページ：<http://www.ehle.ac.jp/meiseisha/>

今回は、皆様もよくご存じの阪急創設者、小林一三の軌跡をたどります。また、小林一三が収集した美術品を展示している逸翁美術館も訪れます。歴史民俗博物館で心学立教舎関係の資料も多数あり希望者にはご覧いただけます（交渉中）最後には、四季の味にも掲載された「そば処のあみ」でおそばを堪能いたしましょう。



日時：平成28年1月17日（日） 午後2時00分集合
→（徒歩約15分）→逸翁美術館→小林一三記念館→（徒歩約10分）→歴史民俗博物館（立教舎関係資料）5時頃解散予定→徒歩約15分
→お蕎麦屋（自由参加、事前申込要）

締切：1月8日

集合場所：阪急宝塚線池田駅改札口

梅田から急行で18分、普通で25分

申し込み方法：[メール meiseisha@ehle.ac.jp](mailto:meiseisha@ehle.ac.jp)

Fax 06-6632-6100

費用：小林一三記念館と逸翁美術館入場料（900円）

（各自お支払い下さい。65歳以上の方は証明書をご持参ください。

入場料が割り引きになります。）

（尚、JAF、ペルソナカードも割引があります）

おそばコース代（約2500円）

日本の近代化が進んだ明治・大正・昭和の時代にあつて、鉄道経営を基軸として数々の事業を興した小林一三。民営鉄道のビジネスモデルとなった沿線の住宅開発による街づくりでは、今でいう住宅ローンをも日本で最初に考えました。また、世界初のターミナルデパート「阪急百貨店」を開業する等、私鉄による多角経営の先駆者として、今なお功績が語られています。

逸翁美術館では、池田文庫が小林一三氏の愛した演劇に関わるものを主として収集、保存しておられるその中から「歌舞伎絵看板」をご覧いただきます。

<http://www.hankyu-bunka.or.jp/>

ご氏名

ご参加人数 見学 名 お蕎麦屋（のあみ） 名

代表者の連絡先